

# 会 議 録

作成日 令和8年3月19日

日	令和8年3月19日(木)	時間	9:30~10:45	場所	糸魚川市市民会館3階 会議室
件名	令和7年度 第2回糸魚川市地域自立支援協議会				
出席者	【出席者】 委員：山田委員、岡尾委員、横澤委員、磯野委員 櫻井委員、野本委員、渡辺委員 事務局：地域生活支援センターこまくさ 内藤管理者 磯貝相談員 福祉事務所 山岸所長、小林係長、飯田係長 二宮主査 八木主査 【欠席者】八木委員 古海委員 小川委員 岡田委員				
	傍聴者定員	一人	傍聴者数	0人	

## 会議要旨

### 進行(事務局)

#### 1 開会

要綱の規定により、委員の半数以上の出席であるため、本会は成立。

#### 2 福祉事務所長あいさつ

第7期ささえあいプランの中間年である今年度は、能生グループホームや、あらたな就労支援等の事業所開設から1年経過し、サービスの定着が図られてきたところです。

そのような中、国では、次期計画の成果目標に、障害福祉人材の確保・定着・ケア充実のための生産性の向上などを掲げ、サービス量の地域格差是正のための方針も掲示される予定であります。

当市はもちろん、人材確保の問題を抱えており、今後の計画づくりの中では、サービス提供者の処遇や環境改善も視野に入れながら、サービスの質と量の確保を図る必要があります。

今回、今年度の取り組みをご報告させていただくとともに、次期ささえあいプランの準備状況についてもご報告させていただきます。

地域住民が連携し、誰もが安心して暮らせるようなまちづくりを、皆様とともに推進するために、皆様の忌憚のないご意見をいただきたい。

#### 3 報告・協議事項

##### (1) 各部会の今年度の取組内容と次年度の予定

資料No.1により事務局から説明

##### (2) 第8期「糸魚川市ささえあいプランアンケートの実施状況について」

資料No.2により事務局から説明

(委員) 青海地域の回答率が低いのはなぜか

(事務局) 住んでいる方の勤務形態とか職業が関係しているのかもしれない。その辺の分析もこれからわかる範囲で調査していきたい。

##### (3) 相談支援部会から事例提供と地域課題の検討

資料No.3より事務局から説明

- (委員) 移動手段の問題は、障害者だけでなく高齢者を含め地域の問題としてある。今回のケースのように個別に対応して一つ一つ課題を解決して、就労に繋がるような取組が大事になってくる。
- (委員) 家族が障害者の就労先への送迎が一番大変の中、地域と協力して、サポートできる組織作りが必要。
- (委員) バス会社等企业側の障害者への対応の研修も計画的にやっていたらよいのではないか
- (委員) 障害者に気づかずバスに乗れずに就労先まで歩いて行ったことが何年前にあった。就労先までの間で、サポートしてくれる支援員や地域ボランティアがいれば助かる。地域とのつながりをもっと大きくできればよいのではないか。

#### (4) 令和7年度糸魚川市地域生活支援拠点事業の実績報告

資料No.4 により事務局から説明

- (委員) 障害者支援施設の地域移行等の意向確認が令和8年度義務化されることになるため、より一層、地域生活拠点事業との連携が必要になってくる。
- (事務局) 拠点事業契約事業所との連携のなかで、障害者等及び家族が地域で安心して生活できるよう支援体制を強化していきたい。

#### (5) 意見交換・情報交換

- (委員) 障害者、高齢者の移動の問題を地域の課題として、取組んでいけるように情報共有を今後も行っていきたい。
- (事務局) 移動支援部会を中心に各部会の活動の中で、この問題について今後も検討していく。

#### 4 その他（報告事項）

事務局より、下記項目について報告

##### (1) 障害福祉サービス事業所の開設について

- ① bit With You 上刈地内 R8.1～就労継続支援A型・B型事業所
  - ② なぎの木 横町地内 R8.4～児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護
- (2) おでかけ支援事業の利用者負担の変更について 資料No.5

#### 5 閉会

以上